「JAL＆国立環境研究所　in　いけだ　空エコ」の開催について（報告）

（平成 29 年度　池田市「ふくまる・ひろまる COOL　CHOICE」普及啓発事業：環境省補助）

1．開催趣旨　政府は、2030 年度の温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 26%削減するという目標を掲げ、その達成に向けて政府だけでなく、事業者や国民が一致団結して温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す新しい国民運動「COOL　CHOICE」を展開している。

池田市では、地球温暖化問題は次世代につながる長期の取り組み課題であるとの観点から、小学校での環境学習の推進に取り組んでいる。

更に、市民向けとして、現状と内外の最新の情報に触れ、意識と行動の自発的な変化を促すことを目的として本講座を開催した。

2．テーマ　「そらから見えた地球の今～そらエコとコントレイルプロジェクト」

3．開催日　2017 年 12 月 3 日（日曜日）　13：00～15：30

4．開催場所　池田市立くれは音楽堂（池田市立呉服小学校敷地内）

5．実施概要

13:00～13:30　オープニング　池田市立呉服小学校吹奏楽部演奏

13:30～13:40　クールチョイス学習の紹介

・司会者から池田市「ふくまる・ひろまる COOL　CHOICE」普及啓発事業の取組について説明

13:40～14:30　トークセッション

制服姿の日本航空国際線現役パイロットと国立環境研究所の温室効果ガス研究者をお招きし、来場者とのクロストークを行った。

・高度 1 万メートルの操縦席から見た地球環境の変化（北極海の氷、アラスカの氷河）と、JAL と国立環境研究所が共同で行っている温室効果ガス観測の取り組み「コントレイルプロジェクト」などを紹介。

・飛行機でのエコドライブ技術とスマートムーブや環境への取組紹介。

・自然が CO_2 を吸収する仕組みと自然保護が地球温暖化防止にもたらす意味の説明。

・CO_2 を排出しない取組と賢い選択＝COOL　CHOICE についての説明。

加藤　義己　氏（日本航空株式会社　ボーイング７７７機長）

町田　敏暢　氏（国立研究開発法人国立環境研究所　地球環境研究センター 大気・海洋モニタリング推進室室長）

質疑応答

14:30～15:10　体験セッション

試液を使って、海が CO_2 を吸収する仕組みについて会場参加者全員で実験を体験実験。

町田氏、加藤氏と小学生９人（会場参加者）

質疑応答

・小学生～大人にまで幅広い層から質問が多数あり、講演者と会場参加者との対話が実現した。

・講演者から参加者へのメッセージとしてクールチョイス宣言の披露を行い、クールチョイス活動の理解と行動の変化を求めた。

15：10　　閉会

6．参加者数　207 名

（内訳）

区分	参加者数
一般参加	121名
小学校吹奏楽部関係	71名
関係者	15名
計	207名

7．主催　　池田市、

8．その他　　・省エネ製品への買換え促進として「しんきゅうさん」の普及啓発チラシを配布、紹介を行い理解を深めた。

・池田市スマートムーブ MAP を配布、紹介を行い、移動の際のエコ意識について理解を深めた。

・参加者からクールチョイス活動の賛同を募った。

賛同書数：30 枚

9. 開催状況

［オープニング～池田市立呉服小学校吹奏楽部演奏］

［JAL 加藤機長、NIES 町田室長トーク］

［実験体験］

［講演者によるクールチョイス宣言］

以上